

Japan Outbound Tourism Council

アウトバウンド促進協議会

2017年11月27日

JATA アウトバウンド促進協議会意見交換会 議事

- 1 開催日時・場所：2017年11月27日（月）16:00～、JATA4階研修室
- 2 出席者：旅行会社以外の会員メンバー
大使館2か国、観光局13局、オペレーター・サプライヤー11社、航空会社12社、合計38機関
- 3 議事（16:00～18:00）
会長挨拶
 - ①11月までの活動報告と18年3月までの活動計画（15分）
 - * 会員数：旅行会社・ツアーオペレーター52社（41）、大使館9か国（8）、観光局38局（34）、サプライヤー67社（39） **合計177団体（122）**
（ ）の数字は設立当初の会員数
 - * プランナーのためのセミナーの実績と18年3月までの計画 資料1
 - * 海外教養講座の実績と実施計画 資料2
 - * 研修旅行の実績と実施計画 資料3
 - * その他 資料4
 - HPの開設、EU大使館でのセミナー・ワークショップ（10月）、実践女子大文化祭（10月）、台湾30選
 - ②18年度活動について（20分）
 - * プランナーのためのセミナー：テーマ「OFF期を売る」 資料5
 - * 地方での教育旅行誘致に向けた教職員を対象としたセミナー
 - * 観光局・大使館と関係機関を巻き込んだ研修旅行の充実
 - * 方面部会別教職員向け教育旅行誘致マニュアルの作成
 - * 大学文化祭でのワークショップ・セミナーの拡充
 - ③集約アンケート内容の報告（10分） 資料6
 - ④アンケートの意見に対するJOTCの見解（10分）
 - ⑤18年度セミナー実施計画の説明（立候補）（10分） 資料5
 - ⑥その他：参加者とのフリートーク・質疑応答（45分）
- 4 ネットワーキング（18:00～19:30）

2017年11月28日

JOTC 意見交換会 議事録

1 開催日時・会場

11月27日（月）16時～JATA4階研修室（意見交換会）・第1第2会議室（懇親会）

2 出席者：役員7名（石原編集長が当日遅れて参加）、関係機関38機関47名

3 議事（報告事項）

- * 直近の会員数は177団体が正当
- * 台湾30選については酒井さんから進捗状況を報告（追加資料4-2）
- * 17年度活動報告と18年度の活動については、資料に基づいて説明
- * 会員からのアンケート内容については各部会担当者から資料6にもとづいて報告
- * アンケートに記載された意見に対する今後の検討事項
 - ①SNS・Webサイト等での消費者向け情報発信の強化
 - ②「美しい街道」の商品化における関係機関とのコミュニケーション不足

4 意見交換

- * マレーシア政観徳永氏：①地方での教職員を対象にしたセミナーでは、旅行会社向けのセミナーも開催希望。②海外教養セミナーでは、若者にターゲットを絞ったものも必要。③文科省は留学しないことをリスクとして広報活動に力を入れている。「とびたて留学ジャパン」制度にリンクするようなイベント等も実施したらどうか？④若者の意識調査も今後の具体的な対策を立てる上で必要か？⑤業界が主体となって大学生向け就活セミナーを実施したらどうか？⑥JATA 会員会社の若手を集めた部会を作って検討してはどうか
- * UTI 井上会長：①一般消費者がアフリカに目を向け始めている点を実感している。伸びしろがある方面である。②マーケット拡大には業界による研修旅行の実施が非常に重要。③オセアニアではサプライヤーによるワークショップ開催が定着しつつあり、この流れに JOTC の活動がリンクすることが理想。
- * ハイアットホテルズ松尾氏：①11月に JOTC と OHEA が実施したホテルセミナー・ワークショップは成果があった。②今後は旅行会社と FIT のマーケット拡大に向け協力関係を深めたい。
- * マリオットインターナショナル ウェスト氏：若者も重要なターゲットだが、ミレニアル世代への取り組みも非常に重要。
- * 古木欧州部会長：欧州はマーケットが拡大傾向にある。部会で選定した「美しい街道」の商品化に向け旅行会社が商品化に力を入れるので、関係機関のご支援をお願いしたい。

実績：9回・574名が申し込み

「プランナーのためのセミナー」新しいトレンドをつくる プロの視点

協力：各国大使館、各国政府観光局、OTOA

(会場：JATA 第1、第2会議室<80~100名>、1は在京のEU大使館にて)

NO	日付	テーマ	講師案
1	8/24(木) 16~18:00 45名	南太平洋の新しい観光素材 クック諸島、トンガ、ソロモン諸島 バヌアツ等 今後が期待される魅力ある島々	ニュージーランド航空 ニューギニア航空 UTI ジャパン ソロモン諸島政府観光局
2	10/18 (水) 18~20時 16名	北アフリカ・マグレブ諸国の最新旅行事情と 注目のデスティネーション	ツアーオペレーターDCI(アルジェリア・チュニジア担当)とサラム・モロッコ (モロッコ担当)
3	10/5(木) 18-20時 31名	アフリカ大研究 注目したいアフリカ諸国の観光 資源とツアー造成 ナミビア、エチオピア、ザンビア、ウガンダ	ツアーオペレーターオーバーシーズネットワーク (エチオピア・ウガンダ) ・UTI ジャパン (ザンビア・ナミビア)
4	10/18(水) 10~13:30 138名	EU 大使館でのワークショップ EU の在日大使館・観光局が参加して、在京の EU 大使館で旅行会社 (午前) 及びメディア (午後) を 対象にしたワークショップを開催	EU 加盟国の大使館・観光局
5	10/18 (水) 18~20時 71名	東ヨーロッパの新しい観光素材 東ヨーロッパの古城ホテルの紹介とツアー に入りたい魅力ある小さな村	ツムラーレ ハンガリー政府観光局
6	11/1(水) 16~18時 59名	アセアン諸国の魅力ある祭り研究 商品化したい伝統的で絵になる祭り (インドネシア・ラオス・カンボジア・ミャンマー)	ビジットインドネシア日本地区事務所 アセアンセンター ジャパンーラオス・クリエイティブ・ パートナーズ オーバーシーズトラベルネットワーク APEX インターナショナル
7	11/13(月) 18~20時 59名	東地中海の新たな商品展開を考える。 ギリシャ、イスラエル、キプロスの現在	イスラエル大使館 ギリシャ大使館：青木氏 キプロス・インフォメーション・サービス：志村氏
8	12/4(月) 18~20時 77名	イタリア再発見：イタリア各地の新しい商品 新しいトレンドをさぐる (1部)南イタリア (2部)北イタリア (3部)ユニークベニユーの活用	イタリア政府観光局 アリタリア・イタリア航空
9	12/11(月) 18~20時 78名	ヨーロッパ・アルプスを深く知る 絶景を求めたツアー用トレイルの研究とホテル 事情。スイス各地、フランス、チロル	スイス政府観光局 チロル：モラス氏 フランス観光開発機構

Japan Outbound Tourism Council
アウトバウンド促進協議会
プランナーのためのセミナー 2017 年度第 4 四半期実施概要

資料 1

協力：各国大使館、各国政府観光局、OTOA、サプライヤー各社

1 テーマ：「*OFF* シーズンを売る」ために必要なプロの視点、その他

OFF 期を如何にして販売していくかは、当協議会に参加している全ての当事者にとって非常に重要なテーマです。18 年は年間を通じてこのテーマを中心にセミナーを開催します。セミナーを通じて、「*OFF* 期」の定義及び関係先が取り組んでいる成功事例や商品化するためのキーポイント等を共有することで、価格競争から脱却したオフ期の増売を目指します。

2 開催日程

回数	第 10 回	第 11 回	第 12 回	第 13 回	第 14 回	第 15 回
開催日	1 月 23 日 (火)	1 月 26 日 (金)	1 月 30 日 (火)	2 月 6 日 (火)	2 月 8 日 (木)	2 月 15 日(木)
時間	16～18 時	16～18 時	16～18 時	16～18 時	16～18 時	16～18 時
会場	JATA 研修室	JATA 研修室	JATA 研修室	JATA 研修室	JATA 第 1 第 2 会議室	JATA 研修室
対象国	ニュージーランド	台湾	カナダ	ベトナム・フィリピン	南ア&ドバイ	フィンランド・バルト 3 国
テーマ	<i>OFF</i> 期を売る	台湾 30 選	<i>OFF</i> 期を売る	<i>OFF</i> 期を売る	未定	<i>OFF</i> 期を売る

* 講師やセミナーの詳細が決まり次第申し込みの皆様にもメールにてお知らせします。

3 セミナーの内容 (予定)

【講師が大使館・観光局の場合】

- * *OFF* 期の場所と時期の定義 (座席供給量・訪問者数等の数字データに基づいたオフ期の定義と場所の明確化、オン期との訪問者数の比較等)
- * *OFF* 期の理由 (天候の要因：暑い・寒い・雨が多い・雪が多い等、その他の要因：アクセスが困難・宗教上の理由、等)
- * *OFF* 期にしか体験できないもの、その時期の食材と食事、価格競争に陥らない素材 (ユニークベニューや特別入場、貸切等)
- * 体験したくなるような旅行素材・アイデアの提案

【講師がオペレーター・サプライヤー等の場合】

- * 手配上の留意点 (デポ・取消料、部屋の格差、評判の良いレストラン・ホテル等)
- * 地上費を削減するための裏ワザ
- * 過去のトラブル等の事例紹介

アウトバウンド促進協議会 (JOTC) 海外教養講座

1 講座開催の趣旨

訪日外国人増加策の一環として、地方発着の航空機を利用した海外への渡航者数を増やすことは、フライト数の増加等を通じて訪日外国人の増加につながる。このため官民一体となって実施する海外旅行フェアに連動して、アウトバウンド促進協議会が企画する「海外教養講座」を通じて、地方発着の航空会社を利用して訪問可能な海外の国々の魅力を、文化や歴史・風俗・習慣・食文化等のテーマに基づいて専門の講師が講演。このセミナーを通じて、海外をより身近に感じてもらい、一般の方々の知的好奇心を刺激して相互交流の拡大を目指す。

2 開催日時・会場（実績）

2017年8月26日（土）10:00～17:00、北海道大学キャンパス内にて 393名参加

講師：北海道大学観光学高等研究センターの先生方を中心に依頼

	講義内容（13:30～15:00）	講義内容（15:15～16:45）
八百板 季穂先生	演題：南太平洋の世界遺産	演題：南米・アフリカの世界遺産と国際協力
上田裕文/下休場千秋先生	演題：欧州で健康保養地観光	演題：アフリカのエコツーリズム
田代 亜紀子先生	演題：世界遺産を歩く	演題：東南アジアを歩く
村上 佳代先生	演題：中東のエコミュージアム	演題：アフリカのエコミュージアム
カナダ観光局 半藤将代 代表	演題：カナダの歴史と自然	
ニュージーランド政府観光局 猪膝 直樹 日本局長		演題：ニュージーランドでの体験交流

3 今後の開催予定

①広島市：「広島空旅！2018」の同時開催イベントとして、18年1月20日（土）午後
広島経済大学立町キャンパスにて講座を開催。各回90名定員

講師と講座内容

*13:00～14:00 多様で豊かな地中海世界（広島市立大学国際学部名誉教授 宇野昌樹先生）

*14:30～15:30 世界のスポーツツーリズム（広島経済大学教授 濱口博行氏）

*16:00～17:00 クルーズセミナー（㈱カーニバル・ジャパン、キューナド 営業部長児島得正氏）

②名古屋市：「旅まつり名古屋」の同時開催イベントとして、18年3月17日（土）午後
イベント会場に近接するナディアパークデザインセンタービルにて開催。

40～60名規模の4会場で合計8コースの講座を実施。

講師と講座内容

*佐藤久美氏、金城学院大学国際情報学部教授：異文化理解（北米・ハワイ）

*若山滋氏（予定）、名古屋工業大学名誉教授：欧州の魅力を建築物から解説

*カナダ政観による、カナダの魅力

*大城道則氏、駒澤大学文学部歴史学科教授：エジプトの魅力

17 年度研修旅行の実績と今後の計画

東アジア	実施期間	研修内容
中国	6/18-24	甘肅省FAMツアー実施 (23名参加)
韓国	5/24-27	韓国観光公社主催テーマ観光研修 (9名参加)
台湾	9/28-30 12/12-14	浪漫台三線・客家ロマンチック街道視察 (20名参加) 客家ゆかりの地を訪ねて！&台北
アジア	実施期間	研修内容
タイ	6/23-27	アユタヤ研修旅行 (11名参加)
	6/23-6/27	ゴルフ三昧研修旅行 (9名参加)
	6/30-7/4	女子旅研修旅行 (6名)
	6/30-7/4	絶景研修旅行 (12名)
	12/11-15	ひまわり畑&赤い睡蓮の湖 (10名参加)
オセアニア	実施期間	研修内容
オーストラリア	9/27~10/2	パース・西オーストラリアでのFAMツアー (8名参加)
ヨーロッパ	実施期間	研修内容
フランス	6/26-7/3	美しい村2箇所と 現地でのワークショップ (8名参加)
オランダ	6/21-26	美しい村視察と現地でのワークショップ (11名参加)
ジョージア	9/4-8	FAMツアーを実施 (4名参加)
トルコ・マルタ	18年2/4~11	トルコの美しい街道と18年欧州文化首都マルタ
マケドニア	18年5/13~19	美しい村オフリドを中心とした周遊コースの開発
北中南米	実施期間	研修内容
アメリカ	4/23~30	コロラド・ユタ現地事情視察 (営業・企画担当者:7名)
ミクロネシア	実施期間	研修内容
グアム	6/29-7/3	グアム・ハファデイ・スタディツアー 84名
中近東アフリカ	実施期間	研修内容
オマーン	2/23-2/29	現地FAMツアー 国交樹立45周年記念
ドバイ	4/22頃	2018ATM&現地視察
南アフリカ	5/6-15頃	2018インダバ&現地FAM

Japan Outbound Tourism Council アウトバウンド促進協議会

資料 4

その他

1 JOTC の HP の開設

* ホームページ公開 <http://www.jata-net.or.jp/outbound/>

* エリア部会は、先立って欧州部会と東アジア部会のページ公開

* 各エリア部会長のメッセージ掲載



2 JOTC としての新しい取り組み（欧州部会）

- ① EU 大使館にて BtoB 対象のセミナー・ワークショップを 10 月 18 日に開催
EU 加盟の大使館・観光局が 20 社、旅行会社から 133 名参加



- ② 実践女子大学での文化祭に参加し、学生向けのセミナーとワークショップを 10 月 14・15 日に開催

1 大使館・8 観光局が参加し、15 回のセミナーを開催。ワークショップには 300 名程度が、セミナーには延べ 352 名が学生を中心に参加。



世界遺産級 台湾 30 選

【活動期間】 2017 年 10 月 1 日～2018 年 9 月 30 日

【主旨】 台湾の需要拡大に向けた新しいエリア・観光素材の発掘と商品化

【テーマ】 文化、歴史、自然（除く食・ショッピング） 【エリア】 台湾全域（除く台北）

【概要】

日本人には知られていない馴染みのない台湾の新しいエリア、観光素材の商品開発と地方への誘客の促進により更なる台湾の需要拡大を図る為、世界遺産級 台湾 30 選実行委員会を発足し、実行委員会にて応募(募集)、選考を行い、選考委員の審査・承認を経て、対象エリア・素材を選出し、台湾観光局、協会の協力のもと、その告知・PR 活動、セミナー、研修ツアー等を実施し、会員各社にて選定エリア・素材の商品化の全国水平展開を図る。

また、2018 年のツーリズム EXPO ジャパンにて当該商品より大賞商品等の表彰を実施する。

【組織】 世界遺産級 台湾 30 選 実行委員会

- 実行委員会 委員長：JOTC 東アジア部会 部会長 藤田 克己
副委員長：JOTC 東アジア部会 副部会長 高橋 正浩
(メンバー) 旅行会社：JTB、KNT、NTA、HIS、阪急、東武 TOP、JLPK、ANA セ、NOE
読売、農協、名鉄、ワールド航空、タビックス、ダイナスティ 15 社
航空会社：JL、ANA、CI、BR、CX 5 社
その他：台湾観光協会、日台観光促進協会等 計 31 名
- 選考委員 委員長：JOTC 東アジア部会 部会長 藤田 克己
副委員長：JOTC 東アジア部会 副部会長 高橋 正浩
委員：JOTC 会長 菊間 潤吾
委員：JOTC 副会長 松田 誠司
委員：JOTC 副会長 生田 亨
委員：日台観光促進協会 会長 志村 格
特別委員：台湾交通部観光局 局長 周 永暉
特別委員：台湾観光協会 会長 葉 菊蘭
特別委員： 作 家 平埜 久美子 計 9 名

【進捗状況 & 今後のスケジュール】

10/16	台湾 30 選実行委員会 発足、第 1 回会議開催
10/16~11/17	台湾 30 選応募 (募集) 期間 * 応募(募集)要項別紙
11/20~24	選考準備、審査(投票) * 選考・審査要項別紙
11/27~12/1	第一次審査・選考案策定 予定 最終審査・選考 (選考委員による審査、選考) 承認後、30 選認定
12/4~	世界遺産級 台湾 30 選 発表 予定 * 告知、PR 活動 (ロゴ製作、JOTC HP 掲載、定例会見等予定)
12 月以降~	会員各社にて台湾 30 選の商品造成検討・開始 予定
12/12~14	台湾 30 選候補『客家ゆかりの地を訪ねて』研修ツアー実施 予定 (日台促進協共催)
2018 年~ 9 月	台湾 30 選研修ツアー、セミナー等開催、会員各社商品の販売開始 ツーリズム EXPO ジャパン 2018 にて当該商品の表彰実施(選考委員)

○応募フォーム(見本)

○台湾 30 選 ロゴ (制作中)

台湾30選 応募フォーム Meet Colors! 台湾 30選

● 名称：龍騰断橋

所在地：苗栗県三義郷龍騰村

テーマ：文化 歴史 自然

推薦旅行会社：台湾観光協会

推薦事由 (紹介)：
龍騰断橋 (りゅうとうだんきょう) は、台湾苗栗県三義郷龍騰村にある鉄道橋の遺構である。古くは魚藤平断橋 (ぎょとうへいだんきょう) と呼ばれた。1908年に台湾総督府鉄道が縦貫線 (後の台中線) を全線開通させた時に作られたレンガ製のアーチ橋であった。1935年の新竹・台中地震で破損、断橋となり、1999年の921大地震によって更に一部が崩壊した。三義郷の観光名所の一つである。縦貫線は.....

地図 貼付 * 写真は複製可

交通アクセス：桃園空港より車で○○分.....
宿泊施設：近隣に○○軒以上ホテル有.....
観光スポット (近隣)：X X X C C C.....

* Google利用

台湾30選実行委員会



* 応募総数：126 点応募 (有効応募数：101 点)

以上

【2018年度 プランナーのためのセミナー】 開催日程

2017年11月15日現在

月	NBR		日	AM	PM	研修室・会議室予約
	am	pm				
4月		1	18日(水)	*	16:00-18:00	研修室
		2	19日(木)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
	※4/23~4/27 終日 第1回旅程管理研修					
5月	3	4	8日(火)	10:00~12:00	16:00-18:00	研修室・第一・第二
	5	6	9日(水)	10:00~12:00	16:00-18:00	研修室・第一・第二
	※5/10~5/31 終日 第2回旅程管理研修					
6月	7	8	28日(木)	10:00~12:00	16:00-18:00	研修室・第一・第二
			*	*	*	*
	※6/1~6/27 終日 第2回旅程管理研修					
7月		9	11日(水)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
		10	12日(木)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
	※7/23~7/31 終日 第3回旅程管理研修					
8月	11	12	17日(金)	10:00~12:00	16:00-18:00	研修室・第一・第二
			*	*	*	*
	※8/1~8/16:国家試験 8/20~8/24:第4回旅程管理研修					
9月			*	*	*	*
	※9/10~14:第5回旅程管理研修					
10月		13	23日(火)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
		14	24日(水)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
		15	25日(木)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
	※10/1~12:国家試験、10/15~19:第6回旅程管理研修					
11月		16	7日(水)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
		17	21日(水)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
		18	29日(木)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
	※11/12~16 第7回旅程管理研修					
12月		19	13日(木)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
		20	19日(水)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
		21	20日(木)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
	※12/10~13 第8回旅程管理研修					
1月		22	16日【水】	*	16:00-18:00	第一・第二
		23	24日(木)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
	※12/10~13 第9回旅程管理研修					
2月		24	13日(水)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
		25	20日(水)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
		26	27日(水)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
3月		27	6日(水)	*	16:00-18:00	研修室・第一・第二
		28	14日(木)	*	16:00-18:00	第一・第二
	※3/11~15 第10回旅程管理研修 3/25-4/9 次年度管理者研修受付					

Japan Outbound Tourism Council

アウトバウンド促進協議会

アウトバウンド促進協議会（JOTC）2018年度セミナー

開催希望マニュアル

- 1 開催希望対象者：当協議会に加盟の、旅行会社以外の会員
- 2 セミナーのテーマ
年間通じての共通テーマとして、「OFF 期を売る」に設定していますが、新規路線の就航や新規観光資源（テーマパークやリゾート施設の新設、新規登録の世界遺産等）など、タイムリーな話題をテーマにすることも大歓迎です。
- 3 講師について
申込書の提出時に決定していなくても構いませんが、想定している業種（大使館、観光局、航空会社、宿泊施設、オペレーター等）は明示ください。
- 4 謝金について
当協会からの講師謝金は予定していません。謝礼が必要な講師をお願いする場合は、貴組織にて対応お願いいたします。
- 5 参加者告知について
当協会会員の旅行会社の社員を対象に、メールニュースや過去のセミナー参加者を対象に情報発信し、参加者を募集・登録します。17年8～12月まで9回実施したセミナーは最低で16名・最大138名（平均63.4名）でした。15名に満たない場合は、相談の上中止とさせていただく場合もあります。又貴組織独自のネットワークで参加者募集も積極的にお願い致します。
- 6 会場・設備・使用料について
添付開催日程で既に手配が完了している会場（スクール形式）は以下の通りです。
*JATA 研修室：最大120名、JATA 第1第2会議室：最大50名
*設備・機材：パソコン・プロジェクター・スクリーン・マイク等完備
（第一・二会議室で開催の場合、研修室の利用状況によりマイクの利用が出来ない場合があります。）
*会場使用料：無料

Japan Outbound Tourism Council

アウトバウンド促進協議会

7 実施までの流れ

- *1月15日：18年度1年間分の立候補締め切り
- *1月末：実施方面・テーマ等決定
- *2月末：メールニュース等で全会員に募集告知発信（同一内容を毎週月曜に継続して配信予定）
- *セミナー開始の2週間前：講師・セミナーの詳細について決定し、登録者にセミナー内容の詳細情報を配信
- *セミナー開始の3～前日：参加者にリマインドのための最終案内を配信

8 その他

- * 希望実施国・エリアは、近隣諸国を含む複数の国又は地域でも可。
- * 立候補の件数が予定件数を下回った場合は、別途公募又は JATA にて決定予定。
- * 大使館の会議室やホールを使用しての開催も大歓迎です。この場合は開催日時は添付の開催日程にこだわりません。会場確保が可能な日時を別途お知らせください。
(現状設定している日程との重複は避けるように調整をお願いします。)

Japan Outbound Tourism Council
アウトバウンド促進協議会

JOTC 18年度プランナーのためのセミナー 講師申込書

組織・会社名： _____
担当者氏名： _____ 電話： _____ Email： _____
所属部会名： _____ 部会
希望実施国・エリア： _____

実施希望日時

第1希望： ____月 ____日 ____時～

第2希望： ____月 ____日 ____時～

第3希望： ____月 ____日 ____時～

メインテーマ： オフ期を売る

サブテーマ： _____

セミナーについて： 実施予定の内容を、以下簡略に記入ください。

講師1 業種： _____ 氏名： _____

講師1の略歴又は会社名

講師2 業種： _____ 氏名： _____

講師2の略歴又は会社名

講師3 業種： _____ 氏名： _____

講師3の略歴又は会社名

申込締切: 18年1月15日(月)・申込書送付先: JATA 保坂 hosaka@jata-net.or.jp

Japan Outbound Tourism Council

アウトバウンド促進協議会

アウトバウンド促進協議会（JOTC）2018年度セミナー

協力：各国大使館、各国政府観光局、OTOA、サプライヤー各社

セミナーの講師とガイドライン

1 テーマ：

「オフシーズンを売る」ために必要なプロの視点
又は、「ニューデスティネーション」・「新たな企画素材」

2 セミナー講師とプレゼンの構成

【講師が大使館・観光局の場合】

起：オフ期の場所と時期の定義（座席供給量・訪問者数等の数字データに基づいた
オフ期の定義と場所の明確化、オン期との訪問者数の比較）

承：オフ期の理由（天候の要因：暑い・寒い・雨が多い・雪が多い等、その他
の要因：アクセスが困難・宗教上の理由、等）

転：オフ期にしか体験できないもの、その時期の食材と食事、価格競争に陥ら
ない素材（ユニークベニューや特別入場、貸切等）

結：体験したくなるような旅行素材・アイデアの提案

【講師がオペレーター・サプライヤー等の場合】

*手配上の留意点（デポ・取消料、部屋の格差、評判の良いレストラン・
ホテル等）

*地上費を削減するための裏ワザ

*過去のトラブル等の事例紹介

3 具体的なイメージ

*対象国（又は地域）を複数の講師で担当（大使館又は観光局＋オペレータ
ー又はサプライヤー等）

*一つのテーマに基づいて複数国（又は地域）を、複数の講師で担当

内容 部会	上期			下期			アンケート 回答者
	拡大が期待できる	①ある程度期待している ②部分的に期待している	現時点では判らない	拡大が期待できる	①ある程度期待している ②部分的に期待している	現時点では判らない	
ヨーロッパ	5	①ある程度期待 1	6	4	①ある程度期待 1	7	12
北中南米州	3	0	4	5	0	2	7
オセアニア・大洋州	3	①ある程度期待 1	3	3	①ある程度期待 1	3	7
中近東アフリカ	6	0	2	6	0	2	8
アジア	1	0	5	2	①部分的に期待 1	3	6
東アジア	4	①ある程度期待 1	4	5	0	4	9
その他（メディア）	1	0	0	0	0	1	1
全部会	23	①3	24	25	①2 ②1	22	50

上期成果と反省（アジア部会）

- * まだ検討段階で、具体的な施策が決まっていないので残念。成果は「若者トラベル」に重点を置き展開する方向性が決定。今後の JOTC 活動に期待が持てる。（観光局）
- * 初年度ということで、成果は直ぐに出るものではないと思う。今回の目的の一つには旅行会社（リアルエージェント）を利用し旅行をするという流れをどう取り戻すのかという事であり、それに向かつての具体的な施策を討議するべきでは。例えば、重点 destinations をベースに、旅行会社とツアーオペレーターとの更なる協働を具体的に進めるセミナーや勉強会など。一部の会社同士の関係ではなく、旅行業界全体で流れができるように期待したい。（オペレーター）
- * 上期は本国の活動実施に追われ、ミーティングに参加出来なかった。（観光局）
- * 現状は、各参加者の意欲に温度差があるように感じます。各参加者（参加企業）の役割を明確化すれば責任感が生まれるのではないかと思いました。（航空）

下期活動計画（アジア部会）

- * JATA の地方支部の協力を得て、地方でのジョイントセミナーを企画して欲しい。（観光局）
- * 各政府観光局との取り組みが少ないように思う。JNTO が海外で展開しているように、各政府観光局に日本人への投資額を増加して頂き、今以上のプロモーション活動の支援を JOTC から働き掛けてほしい。海外では日本人観光客に対してのプライオリティーが下がっているように感じる。（オペレーター）
- * 11 月 1 日に開催されたセミナーに参加したところ、いくつかの旅行会社様からツアー造成の相談を受けた。この実現に向け引き続き旅行会社を支援していく。更にセミナーに関連した FAM 実施が出来たらよいと考える。B to C イベントも積極的に取り組みたかったが、予算の関係で今年はツーリズム EXPO のみとなった。大学のイベントも大変興味があるので、来年度の計画については早めに情報を発進してほしい。（観光局）
- * 地域や会社ごとで不公平が生じないように事案を進めて頂きたいです。（航空）

上期成果と反省（オセアニア・大洋州部会）

- * 弊局主催の業界向けイベントへの参加率が上がりました。販売強化デスティネーションとして複数の旅行会社様に取り組んでいただけた事となりました。（観光局）
- * 両部会（欧州・オセアニア/大洋州部会）とも、地域により参加者の関心度が薄いと感じました。JATA からの更なる情報提供と参加の動機付けの強化をお願いしたい。JOTC で情報共有と意見交換の場を持てたことは、今後の展開に大きな期待が持てる。（オペレーター）

下期活動計画（オセアニア・大洋州部会）

- * 交通広告など、OOH のコンシューマ向けの海外旅行促進プロモーションをお願いします。（観光局）
- * 「出国税」が導入されるなら、その財源を活用したアウトバウンドのキャンペーンを実施して欲しい。例えば「ツーリズム EXPO ジャパン」会場内で外務省の協力を得てパスポート即日発行キャンペーンなどはどうか？そしてブース内で即売会を実施すれば、旅行会社にも航空会社にも販売増加で増収に繋がるので良い施策だと思う。（航空）
- * 数値目標が設定されたので、要望は特にありません。（オペレーター）
- * JATA 会員各社により積極的な参加と関与を期待したい。会員各社による共通キャンペーン商品の造成など、具体的な行動を起こすべき段階と感じる。JOTC 活動をより積極的にアピールすべきでは？この為には業界紙を有効に活用すべき。（オペレーター）

上期成果と反省（欧州部会）

- * 2018年の欧州文化首都レーワルデン、美しい村ヒンデローペンとも、上期に研修旅行、セミナーを開催でき、一定の成果を得られたと思います。（観光局）
- * 美しい道・街道20選に選ばれた「ブリューゲル街道」については、2018年上期企画に向けた問い合わせもあり、今後が期待できるようです。（観光局）
- * 2017年はツーリズムEXPO含め多くの旅関連イベントに参加、B2B・B2C共に積極的なPRができた。また、自主開催のセミナーも1年で3回開催でき、以前に比べてアピール力が強まっていると感じています。旅行者数も昨年比+7%と好調。（観光局）
- * 改善点、反省点としては、事前コミュニケーションが不足していた。貴組織とも積極的にコミュニケーションを取り、協力的に活動していければと思っております。（観光局）
- * EU大使館のワークショップは、来年以降も継続をして欲しい。（観光局）
- * 「美しい街道」は非常に良いと思うが、事前の擦り合わせが欲しかった（観光局）
- * 10月のEU代表部で行われたMedia & Trade Workshop以外、活動計画上独自の計画の実施に集中。旅行会社専任スタッフの辞職もあり、活動へのかかわりは必然的に限定的にならざるを得なかった。Media & Trade Workshopには即効性があまり期待できないため、あくまでも中期的に自国をアピールするためのプラットフォームとして認識している。（観光局）
- * Team Europeに参加させていただき、弊社ができる範囲で一緒に活動させていただきました。目に見えての成果はまだあまりありませんが、継続は力なり、継続して美しい村、美しい街道をプロモーションしていきます（オペレーター）。
- * ヨーロッパに関連する全ての政府観光局様ならびに大使館様と、より深い形にて連携できればと思う次第です。また、SNSならびにブロガーの活用に関して、旅行需要を喚起する上で、どのように建設的に動いていくべきか考えていくのも大切な時代になっているように思います。（航空）
- * 1) 成果：新しい海外旅行のDestinationの発掘・広報活動に関して、個別の企業や政府だけでは埋もれてしまうような未知のエリアなど、JATAの旅行業界全体への普及活動や一段となって集中的な攻略は、特に一般から注目を浴びにくい知名度の低い、知られざる魅力のある旅行先が次々と開かれてきている。チームワークによる戦略の賜物だと思う。2) 改善点 その(1)、B2Bで手一杯で、B2CまではManpower不足もありなかなか難しく、また、B2Cになるとどうしても週末対応が多いので、土日の勤務が難しい政府機関などの参加がどうしても少なくなりがちである。3) 改善点 その(2)もう少しWeb-siteを充実させ、SNSの活用する必要があるのではないのでしょうか？4) 改善点 その(3)各旅行会社のツアープランナー向けに、各社それぞれの要望をすいあげて、カスタマイズした情報提供ができるようなパイプラインがほしい。5) 反省点 現地の最新宿泊施設情報や、季節による施設や交通機関の情報、祭事や伝統行事などの年間プログラムなど旅行企画担当者への紹介がおいついていなかった。

来年度の情報をいかに企画中に届けるかが課題。(大使館)

- * 添乗員派遣会社を会員とする業界団体であるために、直接的な企画等に関わることはあまりありませんが、添乗員同行の旅行ニーズに高まりには、引き続き期待感も大きく、情報収集等の活動は継続していきたいと考えます。本年 6 月 22 日、外務省内会議室において、JATA さんと共催で添乗員向けのセミナー開催があり、「安心・安全」をテーマとしたセミナーで、好評でした。このようなセミナーを今後とも JATA さんのご協力を得ながら、継続して実施したく願っております。(その他)
- * 「魅せるフランスフェスタ」について、来年度も実施予定なら、会場を変えるべきだと思う。郊外のショッピングモール等は如何なものか？週末 KITTE 地下「東京シティアイ」は、地方から上京した観光客や訪日外国人も多いエリア。ショッピングモールはファミリー層も多く、たまたま立ち寄った方にも来場いただけるので、是非検討してほしい。(航空)
- * 欧州の部会は、中東の航空会社にも参加いただけないか？共有量も価格も良いと考える。(航空)

下期活動計画についての意見 (欧州部会)

- * 海外旅行市場の成熟とともに、旅行業界に求められるニーズも多様化が進んでいる。多様化が進むであろう状況下で、旅行業界に添乗員を派遣する当協会の立場は、新しい「情報の先読み・深堀り」が不可欠で、新情報の収集と、お客様の安全・安心を確保していくことが重要なポイントの一つとなる。添乗員の役割について、引き続き欧州市場を中心に情報収集活動を継続していきたい。(その他)
- * JOTC 欧州部会の、新しいデスティネーションの紹介・開発についての取り組みは、活力と斬新さを感じている。即効性なくとも、継続してプロモーションを実施することで、成果を得ることも期待ができる。例えば閑散期における FAM ツアーの実施(対象：メディア・旅行会社企画担当・添乗員派遣会社)で、更なる成果も期待出来る。(その他)
- * 新しい商材を企画する際には、決定前に観光局にすり合わせの連絡が欲しい。当局長からも既にお話させていただいておりますが、「美しい村」や「美しい街道」決定の際に、観光局との十分な協議がないうちに商材が決定してしまったことは、今後の改善希望点です。旅行会社の商材として使いやすいことはもちろん、観光局として PR したい場所である必要もあると思います。(観光局)
- * 2017 年～2018 年にかけて旅行会社企画担当向けセミナーを開催されていますが、東京以外に地方での開催を希望致します。また、開催にあたっては、今年のように他のイベント (EU ワークショップ) と重ならない日程での実施を希望致します。(観光局)
- * 教育関係のプロモーションの積極的な取り組みを検討して欲しい。(観光局)

- * 下期は、美しい街道・道 20 選に選ばれている「黒い森高原」の観光ミッションによる B2B イベントを 11 月 7 日に東京都内で実施済み。また、M 社主導によるフランス・ドイツの美しい街道・道 B2B セミナーも 11 月 30 日に JATA の協力にて実施。黒い森高原の業界関係者内における認知度アップと商品化強化に向けて、良い取り組みができそう。(観光局)
- * 数値目標が設定されたので、要望は特になりません。(オペレーター)
- * 単独ではなかなか難しい場合もありますので、以前のセミナー部会の様な、似た方面のセミナーやイベントの際、複数国が声を掛けあえるとより効果的かと。(観光局)

上期成果と反省（中近東アフリカ部会）

- * マーケットが小さいエリアだけに、安・近・短エリアやヨーロッパに比べると、どうしても後回しにされがちな地域である事は自覚しております。ただ、OTAの取扱いボリュームが増える中、中近東・アフリカエリアはまだ知識・経験・安心感が消費者に求められる地域である事も承知しております。（オペレーター）
- * かつてのNDSでの各国セミナー、最近ではヨルダンセミナーや1005開催のアフリカ大研究（エチオピア・ウガンダ）でスピーカーを務めさせていただき、今後も継続的にこのエリアのセミナーを開催・協力させて頂ければと思っております。（オペレーター）
- * 治安面での不安は終始つきまとい、それが二の足を踏む要因であるとは思いますが、JOTCひいてはJATA様のご後援ご指導の元、もう少しこの地域のプロモーションを前面に押し出していきたいと思っております。（オペレーター）
- * 両部会ともに各1回のセミナーに参加したが、地域によっては参加者の関心が薄く、JATAからの更なる情報提供と参加に対する動機付けをお願いしたい。（オペレーター）
- * 今後の活動に向けた情報共有と意見交換の場を持たせたことは、今後の展開に対して大きな期待を持てると感じた。（オペレーター）
- * いただいた活動報告については特にコメントありません。（観光局）
- * 代理店が本当にツアーを企画するかどうか意思表示が無い。（航空）

下期活動計画についての意見（中近東アフリカ部会）

- * これまで同様に会員の旅行会社に対して積極的に参加を促して欲しい。（観光局）
- * セミナーと共同プロモーションや各国へのファムをJOTCに多く取り入れてほしい。特に近日中に危険度が下がりそうなチュニジアなど。（オペレーター）
- * JATA会員各社のより積極的な参加と関与を期待したい。会員各社による共通キャンペーン商品の造成等、具体的な行動を起こすべき段階と感じる。JOTC活動をより積極的にアピールすべきでは？このためには業界紙を有効に活用すべき。（オペレーター）
- * 大使館・政府観光局との連携・協同・年1~2回の地方でのセミナー・プロモーション（オペレーター）

上期成果と反省（東アジア部会）

- * 日中の周年事業をコアに PT を組成したが、政治的課題があり盛り上がりには欠ける結果となったが、民間レベルで継続した取り組みを行うことが出来たと考えている。(航空)
- * 韓国訪問の年(2016-2018) を昨年から継続、関係機関で交流拡大イベントを実施していただきありがとうございます。実際 8 月から日本人の訪韓者は上向きとなってきており、2018 年 2 月の平昌 OLYMPIC もあり来年に向けて更なる活性化が期待される。下期に向けての活発な活動をお願い申し上げます。(航空)

下期活動計画についての意見（東アジア部会）

- * 消費者に直接アピールするプロモーションの実施を希望します。(航空)
- * 「韓国訪問の年」、「平昌五輪」をフックに交流事業拡大。この活動を JATA、KTO、各航空社、旅行社、マスコミも交え活発的に実施することで日本人訪韓者の増大を図っていただければと思います。(航空)

上期成果と反省（北中南米部会）

- * 既存の活動や報告ではなく、目新しい活動やアイデアに期待したい。販売実績重視のツアーのみならず、マーケット開拓のツアー造成を各参加旅行会社には期待します。（航空）
- * 弊社では毎年 B2B のトラベルトレードショーを実施しています。全米の旅行関連業界の人たちとの商談をしていただく絶好の機会と思いますが、これに参加される日本の旅行会社の方たちが年々減少しています。新しい「商材」を求めている割には、こうしたイベントに参加して積極的にプロダクトを探そうという機運が見られません。（団体）
- * エリア部会でカバーするには広すぎる地域をサブ部会設置によりよりデスティネーションに関連した深いディスカッションができるようになり、今後のサブ部会での深いディスカッションによりエリア部会全体の盛り上がり期待しております。（航空）
- * マヤ文明という括りでの JATA さんとの共同開催という形をとり、JATA さん経由でもセミナーのご案内をして頂いたことから、より幅広い旅行会社や部署の方々がお越し下さいました。（観光局）
- * ハワイ島オールジャパンバスの提案を行い、9 月のハワイでの会議を経てハワイ・サブ部会で各社の賛同を得た。結果、来年 4 月からオールジャパンバス（ハワイ島イブニングシャトル）を走らせることを決定する事が出来た。（観光局）

下期活動計画についての意見（北中南米部会）

- * 意見をまとめるのにご苦労が多いと思いますが、引き続き宜しくお願いします。（航空）
- * 来年 2018 年の IPW についての取り組みを始めています。上記に記入した問題点の検討ができればと思います。（観光局）
- * ハワイではホノルルだけのマーケット拡大はかなり厳しくなっており、直行便就航などにより隣島開発は必須となっております。是非とも活動案に沿ってサブ部会にてディスカッションできればと思います。（航空）
- * 中南米ワーキングをラテンアメリカ・ワーキングに呼称変更希望（メキシコは北米なため）（観光局）